

当社単独業績見通しにおける経常損益・当期純損益の変動要因

○ 平成28年3月期通期見通し（対前年度比較）

	28年3月期 見通し ①	27年3月期 実績 ②	増減 ①-②
売上高	6,970億円程度	6,639億円	330億円程度
営業損益	350億円程度	45億円	310億円程度
経常損益	200億円程度	△ 87億円	290億円程度
当期純損益	190億円程度	42億円	150億円程度

【経常損益の変動要因】

(億円程度)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成26年11月から実施した電気料金の値上げによる増収 700 ■ 燃料価格の低下による燃料費の減 580 ■ 販売電力量の減少による燃料費の減 130 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 燃料価格の低下による燃料費調整額の減 580 ■ 販売電力量の減少による売上高の減 180 ■ 修繕費の増 (経年化対策工事の増 など) 150 ■ 海外炭火力発電所稼働減による燃料費の増 50 ■ その他 160 <ul style="list-style-type: none"> ・ 固定資産税の増 ・ 退職給与金の数理計算上の差異償却増 ・ 情報処理費用の増 など
差し引き 290億円程度 好転	

【当期純損益の変動要因】

(億円程度)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経常損益の好転 290 ■ 法人税等 50 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度繰延税金資産の一部取り崩しの反動 など 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度の過水準備金全額取り崩しの反動 190
差し引き 150億円程度 好転	